誕生、ドゥーラカフェ

産後のママをみんなで支えようーとドゥーラカフェが町内に誕生しました。1月20日、町地域生活支援センター・ふれ愛の郷（進化台、北工学園敷地内）で産後サポートを目的とした交流の場として初めてのカフェが開かれました。

出産前後の心身が不安定な時期のママを、先輩お母さんらが、いわば母親のようにサポートする取り組み。○母親サポート○家事サポート○育児サポートーと大きく3つに分かれた取り組み方があるそうです。

昨年10月に（社）ドゥーラ協会（東京）の認定産後ドゥーラの資格を取得したという川野恵子ふれ愛の郷施設長が立ち上げました。「いつも元気なお母さんがいてくれれば、子どもたちは明るく育つ。忙しくて家が散らかっていても気持ちが穏やかに育つ」「今までは子育てで悩むお母さんを実質的に手助けする手立てがなかった」などと取り組む思いを話しました。

会場には12人の若いお母さん、先輩お母さんが集まりました。「北海道にはないと聞いて参加した」「孫ができた時、お嫁さんが出産の時に寄り添えていたら…と思っていたので参加した」

「しゅうと、しゅうとめと同居していて、子育てに悩んだことがあった。そんな時、子育ての先輩がいてくれれば心強いと思い参加した」「夫が転勤族で、知らない街でへこむことが多かった。産後ばかりでなく、子育て支援につながる場があってもいい」などとそれぞれの思いを話しました。

次回は3月3日午後1時半から開催予定。2カ月に1回程度、交流するそうです。

新成人、門出の祝いに82人

1月11日、農村環境改善センターで82人が新たに成人の仲間入りをしました。

成人式の出席者は昨年より23人も多く、近年にないにぎやかさ。旭川福祉専門学校で日本語を勉強するために来日中の韓国、ベトナム、タイの留学生4人も出席しました。ペトウリチャイ・パッタラさんはベトナムの民族衣装、アオザイを着て出席し国際色豊か。ベトナム人留学生13人が一緒にパッタラさんの成人を祝いました。

松岡市郎町長は式辞で「皆さんには夢がある。若い力には発想力がある。直観力がある。日本の人口を支えるのも若い力」と門出の言葉を贈りました。

答辞に立った林紘汰さんは「今まで人と人とのつながりで成長することができた」と社会人としての自覚を新たにしていました。

コンサドーレ旭川U―15に北原新監督

Jリーグプロサッカーチーム、コンサドーレ札幌のアカデミーチーム、コンサドーレ旭川U―15を7年間指導した佐藤尽前監督に代わって、2月から北原次郎新監督が着任しました。

既に1月上旬からチームに合流して指導を始めています。「選手たちが願っている、そしてチャレンジしている目標を精一杯サポートしたい」と抱負を話しました。

国内の4プロサッカークラブでテクニカルコーチ、強化担当、トップチームコーチなどを務め、アカデミーチームの監督は初めて。札幌では夜間アカデミーチームの技術指導もしていたそうです。

「サッカーとしては札幌も、東川も、全国も大きな違いがあるわけではない。やれることが少しずつ増え、精度が厳しくなっていくけれど、我慢強く選手の成長を見て、トライしていきたい」と意欲的。

札幌市出身、33歳。札幌光星高校を経て国立筑波大学体育学部大学院修士卒業（体育研究科コーチ学専攻）。ジュビロ磐田、清水エスパルス、ジェフユナイテッド市原・千葉の各チームコーチを経て2013（平成25）年からコンサドーレ札幌コーチ。

年初に無事誓って消防出初め式

1月5日、大雪消防組合東川消防団（金盛勇松団長）が消防出初め式を行いました。

午前10時、晴れて水点下9・3度の静穏な日和に恵まれ、役場前に5分団80人が勢ぞろい。同10時半、出初め式冒頭に、松岡市郎町長から結成以来引き継いできた団旗を更新して継承を受けました。

松岡町長、浜辺啓町議会議長らの団観閲に続いて道の駅・ひがしかわ道草館前約500㍍の道道旭川旭岳温泉線を分列行進し、新たな団旗の下に団員の勇姿を披露、年初の出動で気を引き締めました。

また東川町農協大ホールで功績者25人の表彰を行いました。表彰者は次の通り（順不同、敬称略）。

◆町長表彰（勤続20年、同10年は道知事表彰兼彰）▼勤続25年　園田稔（第4分団副分団長）、守屋勝蔵（第3同部長）▼同20年　山中伸幸（第2分団副分団長）、千葉光志（第3同班長）＝大雪消防組合管理者・道消防協会長勤続表彰兼彰▼同15年　牧清隆（第4分団班長）、麻下智基（第3同団員）▼同10年　松家孝志（第2分団班長）＝道消防協会長勤続表彰兼彰、山田克宏（第4同団）、来田紀興（第1同団員）、長沢卓哉（同）、石澤昌敏（同）、安原裕貴（同）＝道消防協会長勤続表彰兼彰、岩田勇一郎（同）＝同、松下直幸（第2同団員）＝同、阿部茂（第5同団）

◆大雪消防組合管理者表彰（道消防協会長勤続表彰兼彰）▼勤続表彰20年　篠原猛志（第1分団班長）

◆東川消防団連合後援会長表彰▼同5年　藤倉智恵子（女性部長）、田村美恵（同班長）、安藤真由美（同団員）、折原博美（同）、長沢聡子（同）、西脇久登（第1分団団員）、松原睦宗（同同）、朝倉明博（第3分団同）▼感謝状　立石睦夫（第4分団元後援会長）

旭大生と旭大高吹奏楽部がクリスマス初コンサート

昨年12月23日、第三地区コミュニティーセンターで旭川大学クリスマス企画有志の会（会長・保健福祉学科コミュニティー福祉学科3年、櫻田直樹さん）が主催して初のクリスマス音楽祭を開きました。

旭川大学高校吹奏楽クラブ（鈴木杏奈部長、川島明人先生指揮）の町内初の演奏会。「クリスマスキャロル・ファンタジー」（星出尚志編曲）を筆頭に、「ハッピー・ハッピー・ハッピークリスマス」（林直樹編曲）など、なじみやすい曲を中心に12曲を演奏しました。

同吹奏楽部は、昨年の吹奏楽コンクールで全道金賞、東日本大会金賞を獲得するなど高い実力を持っています。この日の演奏には東川出身の部員も加わりました。

有志の会のクリスマス企画は、毎年第三地区の高齢世帯を訪問してクリスマスプレゼントのケーキを届けるボランティア活動を6年間続けてきました。年々賛同する学生も増えているようです。来訪を待っていてくれるお年寄りも年々増え、「今年も来たよ」と約20世帯を訪問して交流が続いています。

幼児センター園児が歩くスキー「楽しい！」

1月22、23の両日、幼児センターの5歳児の子どもたち約60人が歩くスキーを楽しみました。

幼児の時からスキーに親しんでもらおう、と今季から歩くスキーを取り入れました。昨年12月下旬に続いてこの冬2回目のスキーです。子どもたちは数日前から楽しみにしていました。

まだスキーを滑ってわずか2回目ですが、乗り始めてわずか10分余りですぐにコツを覚え、歩いたりグラウンドの築山を登って滑降に挑戦。途中で転んでも「楽しい！」と雪まみれになって遊んでいました。